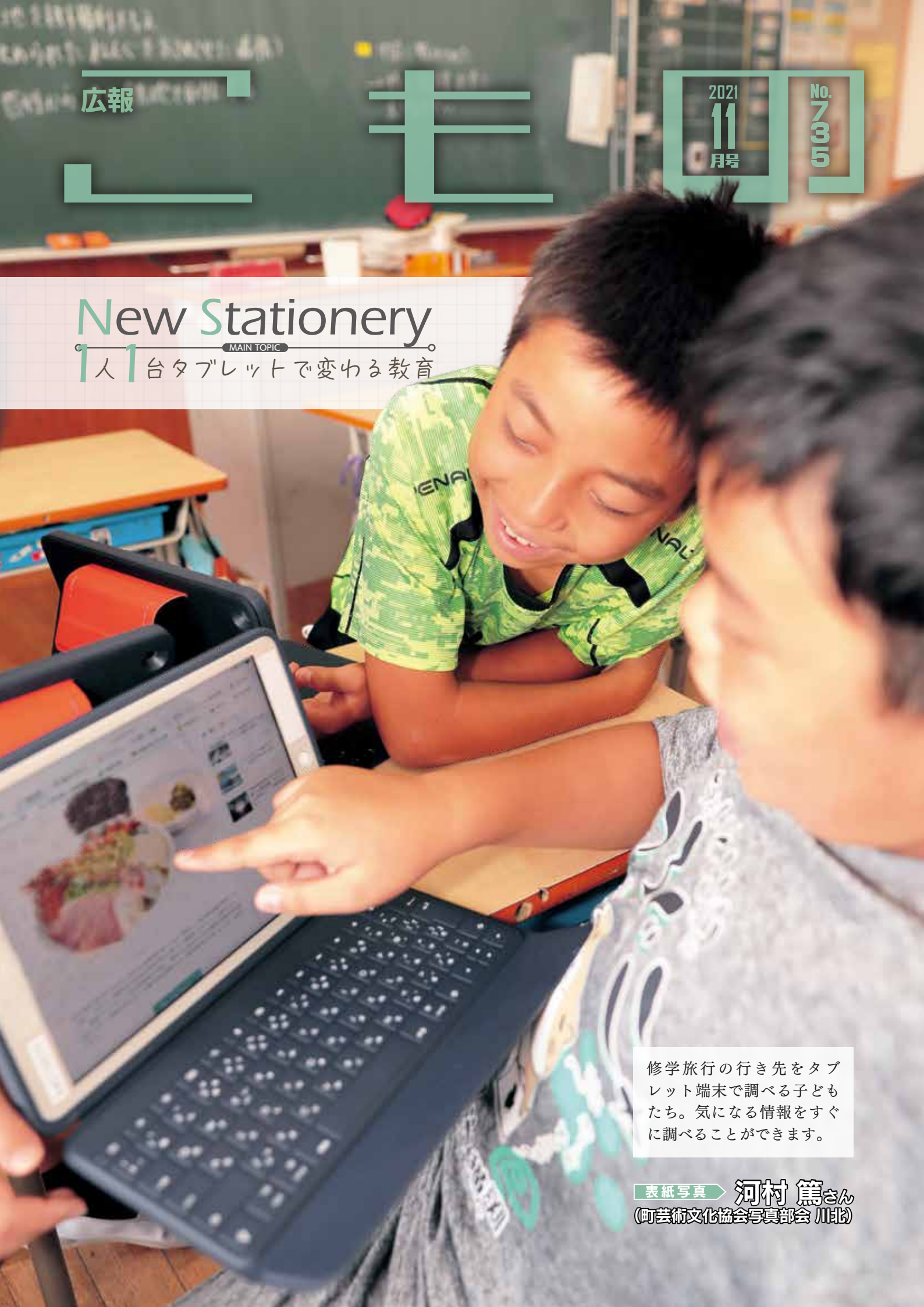
広報

こもの

2021 11月号

No.735



New Stationery

MAIN TOPIC

1人1台タブレットで変わる教育

修学旅行の行き先をタブレット端末で調べる子どもたち。気になる情報をすぐに調べることができます。

表紙写真 河村 篤さん
(町芸術文化協会写真部会 川北)

ICT Information and Communication Technology

荒野町で導入したタブレット端末

Tablet

今回、町内の小中学校に１人１台導入したタブレット端末は、Apple 社製の iPad。タブレット端末として必要な機能は基本的に網羅しており、小中学校の学習に利用するには十分なスペックがあります。

Cover

落下などのある程度の衝撃に耐えられるよう子どもたちのタブレットにはカバーが付属しています。タブレット本体を守るよう端末の４隅や液晶がカバーできるようになっています。

Keyboard

タブレットに付属するカバーにはキーボードが付いています。タッチ操作だけでなく、ローマ字入力などのタイピング操作にも対応できるようになっています。

ICT化で変わる教育現場

世界的に進められている情報通信技術の発展。一度に扱える情報量が増大し、社会のあらゆる部分が情報通信技術によって新しいかたちに置き換えられるような大きな変革が起きています。その影響は、教育現場も例外ではありません。日本全体で子どもたちが情報化社会を生き抜くための力を育てる計画が既に始まっています。荒野町でも教育現場のＩＣＴ化を進め、令和３年８月30日に町内の小中学校全ての児童生徒に１人１台タブレット端末を配備しました。

このタブレット端末を活用して学校教育はどのように変わっていくのでしょうか？その現場を取材しました。

INDEX 01 What's ICT？

ICT は、「情報通信技術」と訳される情報・通信に関する技術の総称で、インターネットなどを経由して人と人とをつなぐ役割を果たしています。以前はデジタル化されたデータを扱う技術やモノを表現してきた「IT」という言葉が主流でしたが、情報量の増大から情報通信技術を表す「ICT」、さらにその先の技術へ移行しつつあります。

START UP 01

準備 → 導入

Preparation for tablet use

約4000台のタブレット端末

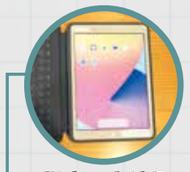
今回、町内の小中学校の児童生徒に１人１台配備するために準備したタブレット端末の台数は教職員の分も含めると合計で約4000台にもなります。このタブレット端末を各小中学校で１人１台ずつ貸し出し、授業や家庭学習で活用しています。小学校でも中学校でも貸し出しているタブレット端末は同型の製品で、学習に必要なアプリなどは最低限のものが既にインストールされており、必要に応じて追加インストールできる状態になっています。

町ではまず、令和２年10月に町内の小中学校の教職員全員にタブレット端末を配備し、授業の中で円滑にタブレット端末を使用して児童生徒の理解に繋げられるよう町教育委員会主導で行う研修会や教職員同士での校内研修を何度も重ね、準備を進めてきました。児童生徒への端末の配備を概ね終えた現在も、端末をさらに有効活用するために研修や検討は続けています。

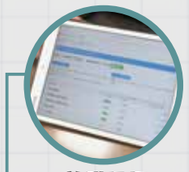
INDEX 02 端末は「貸し出し」

タブレット端末は無償で配備していますが、町からの「貸し出し」です。児童生徒は今回渡されたタブレット端末を小学１年生から中学３年生まで一貫して使用し、中学校卒業時に町に返却してもらいます。返却してもらったタブレット端末は、再び新しい小学１年生に使ってもらうので、児童生徒の皆さんは決して壊したりしないよう大切に使ってください。

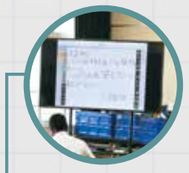
DATA ICT 化に向けて整備した機器（一部抜粋）



児童・生徒用タブレット端末 約3700台



教職員用タブレット端末 約300台



大型モニター 約250台

円滑に利用できる環境を整備

児童生徒がタブレット端末を円滑に活用するために、各小中学校ではこれまで通信環境の整備を進めてきました。各教室で隔たりなくインターネットに接続できるようWi-Fiの電波を校舎内のほとんどの場所で受信できるようにし、教室内の児童生徒が一斉にインターネットに接続しても回線が滞らないよう強靭なネットワークを構築しています。加えて、各教室には60インチの大型モニターを設置しており、教職員のタブレット端末の画面を共有して映し出すことで大型モニターの画面を黒板代わりに使用したり、教職員からの課題を全員で確認できるようになっています。

また、今回のタブレット端末の導入に合わせて町教育委員会には専門の部署を設け、学校内のネットワークに不正アクセスや不具合がないか常時、監視しています。「キーボードが反応しない」といったタブレット端末を利用する上での不具合や「パスワードがわからなくなった」といったトラブルが起こった場合も即座に対応できる体制を構築しており、児童生徒の円滑な利用のために万全を期しています。

START UP 02

導入 → 活用

To take advantage of tablets

特集 New Stationery MAIN TOPIC

1人1台タブレットで変わる教育

休校の中 家庭内学習に活用

新型コロナウイルス感染症の影響で緊急事態宣言が発令されていたため、町内の小中学校は9月中旬までやむをえず休校となりました。そこで町教育委員会は、2学期初めの2日間を登校日とし、9月初旬に児童生徒に配備する予定だったタブレット端末を渡しました。

休校となった期間、中学校と小学5・6年生の児童生徒らは受け取ったタブレット端末を使い、オンライン会議システムを活用して試行的に朝の学活を行いました。タブレット端末を介することで、会うことができなかったクラスメートの顔を見ることができ、教職員がデジタルドリルの進捗状況の確認などを行うこともできました。予期していないタイミングでの活用ではありましたが、デジタルドリルなどを活用して各自で学習を進めることで、子どもたちの学びの充実や心の健康につながる取り組みとなり、早速タブレット端末が役立つケースとなりました。

▲端末にインストールされている教材で自宅で楽しそうに学習を進める児童

子どもたちは今後もタブレット端末を学校から自宅に持ち帰り、タブレット端末で宿題や課題に取り組むなど家庭学習に活用していく予定です。

大きく変わる学校の授業

9月中旬からようやく学校が再開し、いよいよICT教育が本格化しました。タブレット端末が児童生徒に配備されてからまだ2か月ほどしか経過していませんが、各学校のさまざまな授業でタブレット端末の活用が図られています。

教科や学年によって活用方法は異なりますが、例えば小学校低学年の算数の授業では、端末上で同じ図形を探したり、クイズ形式で九九を覚える学習に使われています。書道の授業では端末に搭載されているカメラで作品を撮影し、撮影した画像に教職員が気をつけるべきところを書き込んで指導を行うなどタブレット端末に搭載されている機能を最大限に生かした授業が進められています。他にもタブレット端末を使っての英語の発音練習や動画で理科の実験手順を確認するなど活用方法は多岐に亘り、どの教科でもこれまでと全く違った授業展開を可能にしています。

▲八風中学校の修学旅行では、代表者がタブレット端末を持参し、旅行中の写真撮影などに活用しました。

INDEX 03 家庭での取り扱い

タブレット端末は学校から自宅に持ち帰ることができますが、登下校中に落としたりして破損しないよう注意しましょう。また、フィルタリングの機能を搭載していますが、有害サイトなどに無断で接続しないようご家庭で見守っていただくようお願いします。

大事に持って帰ります！

情報モラル教育も必要

子どもたちの吸収力は思っていたよりもずっと早く、多くの児童はタブレット端末を使いこなしています。一方で、インターネット上には信用できない情報もあふれていることなど情報モラル教育もしっかりと行っていかなければなりません。これから学習の中にどのようにタブレット端末を組み込んでいくか研究しながら進めていきます。

竹永小学校
教諭 川瀬章仁

INDEX 04 セキュリティ対策

児童生徒のタブレット端末には、有害なインターネットサイトにアクセスできないようにするなどセキュリティ対策が施されています。また、町教育委員会で端末の状態を常に把握できるようになっているため、もし端末に不具合などが発生した場合も即座に対応できるようになっています。

もしものときも安心！

MEMO ある日の小学校の授業

＼授業開始／

タイピング入力練習

端末の画面に次々表示されるローマ字や単語をタイピング操作で正確に入力していきます。入力を終えると正答率が表示されます。

検索サイトで調べ学習

検索サイトを開き、修学旅行で訪れる地方の調べ学習を開始。信頼できる情報か確かめながら「&検索」などを駆使して調べていきます。

タブレットでまとめ

調べた結果をタブレット端末の付箋入力機能を利用してまとめていきます。入力した付箋は全員が共有している画面に貼り付けます。

大型モニターで発表

教室前方の大型モニターに全員の入力内容が映し出されます。教職員は画面を見ながら解説し、児童たちの入力内容に赤字で追記していきます。

＼TOUCH／

タブレット端末で子どもたちの学習が変わる

学習の幅が大きく広がる

ICT教育でできること

ICT 教育が進み、児童生徒が１人１台タブレット端末を持つことで授業展開や学習する様子が変わります。ここでは、タブレット端末を使って新たにできるようになったことをご紹介します。

考えを伝え合う Share your thoughts with your friends

学習内容や画像を学級全体で共有することができます。意見を発表するなど、お互いの考えを伝え合うような場面で役立ちます。

▲大型モニターとそれぞれのタブレットを繋ぎ、全員の意見を可視化できます。

インターネットで調べる Researching on the Internet

自分で気になることがあったらインターネットの検索サイトを用いて調べることで、効率的な調べ学習を行うことができます。

▲授業中にわからない単語があったら、検索サイトで検索します。

デジタルドリルを解く Solve the digital drill

デジタルドリルなどで課題を行い、インターネットを介して添削作業を行うこともできます。間違えた問題の復習も重点的に行えます。

▲インターネット環境がないご家庭にはダウンロード版もご用意しています。

動画で確認する Checking with video

体育の授業で動画を撮影してフォームチェックを行ったり、理科の実験などを動画で再確認することなどができます。

▲児童同士で動画を撮り合い、フォームで気になる箇所を確認します。

写真を撮って共有する Take a photo and share

搭載されているカメラでどこでも気軽に写真を撮影することができます。屋外学習で被写体を撮影して記録として残せます。

▲撮影した画像を取り込んで、グループ別に共有することも可能です。

オンライン会議の活用 Utilize online meetings

インストールされているオンライン会議システムを利用して教職員と児童生徒が自宅や学校で画面を通して連絡を取り合うことができます。

▲自宅からでもオンライン会議システムで教職員に連絡ができます。

QRコードを読み取る Read the QR code

教科書に記載されたQR コードを読み取ることで関連するインターネット上の情報を閲覧したり、動画で確認したりすることができます。

▲各教科の教科書には QR コードが記載されているものが多くなってきました。

特集 New Stationery MAIN TOPIC
１人１台タブレットで変わる教育

アナログとデジタルの併用

これから教科書なども完全に電子書籍化されていく可能性があり、タブレット端末でほとんどの教材を網羅することができるようになる未来がやってくるかもしれません。そうなれば、学校からノートや鉛筆、黒板がなくなってしまう日がきてしまうのでしょうか。

答えはそうではありません。黒板への板書やノートに鉛筆で書き写す作業は「アナログ」な教育手法であるかもしれませんが、アナログな手法でしか学べないこともあります。今後は、タブレット端末が学習のための新しいツールとなり、教育の幅を広げる選択肢のひとつとなります。「アナログ」と「デジタル」の手法を使い分け、子どもたちにとってよりよい学習の場を与えていくことが、今後のＩＣＴ教育の目指す方向であると言えます。

まだまだＩＣＴ教育は始まったばかりですが、タブレット端末の導入で大きく子どもたちの学習の様子は変わりました。今後はさらにさまざまなかたちでタブレット端末が使用され、新たな活用方法や授業展開が進められていくことになるでしょう。子どもたちには小中学校でのＩＣＴ教育で得た経験を糧にして、これからの未来を創っていってもらいたいと思います。

▲大型モニターと模造紙、両方を併用して発表を行う様子。

▲授業中はタブレット端末とノートを併用する場面も多いです。

MEMO ロ デジタルとアナログ

デジタル教材
- タブレット端末
- プログラミング教材
- デジタル教科書

アナログ教材
- ノート、鉛筆
- 黒板、チョーク
- 紙の教科書

INDEX 05 高校でもICT教育

三重県教育委員会は、令和４年４月から県立高等学校でも１人１台の学習端末を導入すると発表しています。そのため、令和４年度以降の高校入学生から保護者の負担で学習端末を購入する必要があります。高校でも小中学校と同様に、オンラインで配信される教材や動画による学習等が行われる予定です。

問い合わせ
▶学校教育課
TEL 391-1155
FAX 391-1195

PHOTO NEWS フォトニュース

9月30日 新しいデザインの車両が走る

「かもしか号」新型車両導入

◀新型車両とともに写る小島さん（写真左）と町長

菰野町コミュニティバス「かもしか号」の新型車両が運行を開始しました。新型車両のデザインは昨年に引き続き菰野高校の生徒にお願いし、美術の授業で制作したデザイン案の中から決定されました。採用された小島翔音（かのん）さんのデザインは、湯の山温泉をイメージした温泉にシカが入る様子が描かれたデザインになっています。

新型車両の運行コースは日によって変動しますが、ぜひ新しくなった「かもしか号」にご注目ください。

9月27日 小中学校でお世話になります

新しい ALT を紹介

JET プログラム（外国青年招致事業）により、新しい外国語指導助手（ALT）のジェシカ・ノエ・ウイタカさんが着任しました。ジェシカさんはアメリカのカリフォルニア州から来日し、町内の小中学校で英語の指導にあたります。

9月30日 災害時に上空から支援

消防本部がドローンを導入

◀ドローンを操縦する消防職員

災害現場での情報収集や火災の調査等に用いる無人航空機（ドローン）を消防本部が導入しました。導入した機体にはサーモグラフィ機能が付いたカメラを搭載し、上空から火災の延焼状況などを確認することができます。

10月16日 戦没者を追悼し恒久平和を誓う

戦没者追悼式典を開催

◀規模を縮小して開催した式典の様子

第42回戦没者を追悼し平和を祈念する式典が菰野町町民センターホールで開催され、戦没者の冥福を祈りました。感染症の影響を考慮し、参加者を減らしての開催となりましたが、式典では、町長と遺族会代表の式辞の後、本間大翔（ほんまはると）さん（八風中３年）が非核平和宣言を読み上げ、平和への想いを伝えました。

10月15日 来年の開催を目指して道路をキレイに

県建設業協会が美化活動

◀手分けして道路脇に落ちている廃棄物を拾う県建設業協会の皆さん

今年は感染症の影響で鈴鹿山麓かもしかハーフマラソンが延期となりましたが、来年の開催を目指して三重県建設業協会四日市支部が大会に合わせて例年行っている美化活動を実施しました。

問い合わせ
四日市西警察署 ☎394-0110

女性に対する暴力をなくす運動

女性に対する暴力は決して許される行為ではありません。早期に警察などの関係機関に相談すれば、迅速な解決が見込めます。

運動期間 11/12（金）▸▸ 11/25（木）

相談窓口
- 三重県配偶者暴力相談支援センター
  TEL 059-231-5600
  月 水 金 9:00～17:00　火 木 9:00～20:00
- みえ性暴力被害者支援センター「よりこ」
  TEL 059-253-4115　平日 10:00～16:00
- 警察安全相談電話（県警本部）
  TEL #9110 または 059-224-9110
  平日 9:00～17:00

犯罪被害者支援活動

三重県警察では、犯罪被害等で悩んでいる方の相談や支援などの活動を行っています。

運動期間 11/25（木）▸▸ 12/1（水）

令和３年度
犯罪被害を考える集い

開催日時 11/27（土） 13:30～16:00

開催場所 三重県営サンアリーナ レセプション室
伊勢市朝熊町鴨谷 4383-4

入場無料　事前申込制　先着100名

申込期限 11/19（金）

申込先 （公財）みえ犯罪被害者総合支援センター
TEL 059-213-8211

相談窓口 （公財）みえ犯罪被害者総合支援センター
TEL 059-221-7830　平日 10:00～16:00

町長のひとり語り

The Story of our Mayor

Theme 32 駅前駐輪対策＆町の情報発信

今月号の広報こものでも啓発させていただいておりますが、菰野駅周辺で気になっていたのが歩道の路上駐輪※です。現在、町が歩道の管理者として撤去等の準備をしておりますが、駅前には駐輪「できない」ことを前提に自転車以外の手段で駅へ向かう、あるいは駅前駐輪場以外に駐輪ができないか、もう一度考えていただけるようお願いします。

さて、しばしば皆さんから町の情報について「知らなかった」「もっと発信を」というお声をいただきます。町では、広報こもの、おしらせ版、ポスター・チラシ等紙媒体、ホームページ、行政情報メール、SNS等の電子媒体等の幅広い手段で情報を発信しております。

中でもお勧めは、防災ラジオと町公式アプリです。防災ラジオは朝夕自動的に放送され、難しい設定が不要なので誰でも利用できます。多少騒がしいところはありますが、ラジオをコンセントに接続し、停電時に備えて乾電池を入れて常に受信できる状態にしておくようお願いいたします。

町公式アプリは、皆さんの興味がある情報についてプッシュ通知がきます。イベントのカレンダー機能、ごみ出し忘れ防止アラートなどがあり、町の電子サービス全てにアクセスする窓口にもなっています。一度、スマートフォンにインストールして、全ての通知を受け取る設定をいただくようお願いします！

町公式アプリダウンロード
App Store からダウンロード　Google Play で手に入れよう

※菰野駅周辺の駐輪場所等に関しては、今月号の12ページをご覧ください。

第92回

郷土史・風俗

2つのルートがあった 八風街道

現在、八風街道と呼ばれる街道は、中世の頃と江戸時代で2つのルートがありました。中世の頃は、桑名市の七里の渡しを起点とし、滋賀県の八日市へ通じていました。

一方、江戸時代は四日市市の富田一色を起点とし、大矢知、平津を経て田光区で南からの巡見街道と重なり、まっすぐ山を登って八日市まで続き、その先は中山道へと繋がっていました。

◀明治30年頃に建立された田光区内の道標。「右 とみた四日市道」「左 くわな道」と刻まれています。

江戸時代の 八風街道

富田一色
松原
蒔田
大矢知
山分
平津
中村萱生
山城
札場
神崎
中野
保々新田
永井
竹成
小島
田光
切畑
八風峠
杠葉尾
政所
萱生
佐目
相谷
高野
山上
青野
如来
八日市

短歌 清流短歌教室 三原香代 選

不自由な指先なれど早朝の草取り日課健康のもと　平井光子

盆行事コロナ禍中止のこの日本癒され風鈴心にひびく　市川吉康

ソフトボール「よーしいける」と声の出るキャッチャーフライで金メダル取る　豊田真智子

くさむらに賑やかなりしくつわ虫草の葉ゆらし夕暮れは秋　平林和江

帰省の子を抱きしめしことハグされしこと輝きとして記憶に刻む　花木みち子

泳ぎ終え肩を抱きあうパラメダリスト周りの人も涙のなかに　増田陽出美

俳句 けやき句会 石井いさお 選

神々の巡る花畠礼文島(れぶんとう)　宮内昭男

【評】利尻島や礼文島は北海道の北部にあり、花の島として知られ、レブンソウなど島の名を冠した植物も多い。花の最盛期には神々が降臨する花園となっている。

夏逝くや動くともなく動く雲　加藤里歩

白昼や無音の世界秋時雨　伊藤泰子

花小舟水面に浮かぶ散蓮華(ちりれんげ)　市橋晶子

川霧の上に浮かぶや河童橋　小川明子

飼猫の仕草目で追ふ炎暑かな　山下博

灼熱の太陽沈み風涼し　内田貞子

DATA 9月のデータ【9月末現在】

		件数	1月からの累計
火災発生		0	11
救急車出動		112	1102
	交通事故	8	86
	急病	76	737
	一般負傷	19	186
	その他	9	93
救助出動		0	20
交通事故		73	747
	物損事故	67	709
	人身事故	6	38
	死者	0	1
	傷者	9	49

		数	増減
総人口		41,536人	－6人
	男	20,538人	－23人
	女	20,998人	＋17人
総世帯数		16,907世帯	＋24世帯

寄付 ありがとうございます

社会福祉のために▶匿名で防災食品（アルファ米、味噌汁）▶匿名で1万円▶匿名で30万円▶匿名で10万円

令和3年7月大雨災害へのご支援ありがとうございます

菰野町では、令和3年7月大雨災害の被災地に対する義援金の受付を行っています。皆さまから義援金として、64,040円（10月22日現在）のご支援をいただいています。この義援金は日本赤十字社三重県支部を通じて被災地へ送ります。

問い合わせ
総務課
安全安心対策室
TEL 391-1102
FAX 394-3199

QR

◀菰野町 MaaS「おでかけこもの」
URL https://www.kotsu.town.komono.mie.jp/

◀菰野町ホームページ
URL http://www.town.komono.mie.jp/
＊ホームページでは、広報こものを当紙と同じ体裁でご覧いただけます。

11月 図書館カレンダー CALENDAR

1 月	休館日
2 火	
3 水	
4 木	ギャラリー「こどもひかりあーと展」▶11月14日まで
5 金	
6 土	
7 日	
8 月	休館日
9 火	
10 水	
11 木	
12 金	
13 土	14:00～ 楽しいおはなし会
14 日	催事室「寒蘭展」▶11月13日・11月14日
15 月	休館日
16 火	
17 水	
18 木	
19 金	
20 土	11:00～ 朗読劇
21 日	ギャラリー・催事室「花墨会書道展」▶11月20日から11月21日まで
22 月	休館日
23 火	休館日
24 水	
25 木	15:30～ 英語のおはなし会
26 金	
27 土	13:30～ 民話がたり 14:00～ 楽しいおはなし会
28 日	
29 月	休館日
30 火	

※おはなし会やギャラリー展示は新型コロナウイルス感染症の影響により中止（延期）とする場合があります。

月刊 としょかんいんふぉ KTL INFO

菰野町図書館　開館時間 9:30-18:00
TEL 391-1400　FAX 394-4433　http://www.town.komono.mie.jp/library

過ごしやすい秋の夜長に読書を

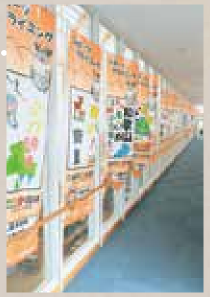
2021 第75回読書週間 10/27～11/9

10月27日から11月9日までは2021第75回読書週間です。過ごしやすい秋の夜長に読書をお楽しみください。

「三重とこわか国体」幟展示

三重とこわか国体

残念ながら中止となった「三重とこわか国体」ですが、開催に向けて町内の小中学生が制作していた各都道府県の選手を歓迎する幟(のぼり)を館内に展示しています。各都道府県の個性が表れた幟をぜひご覧ください。

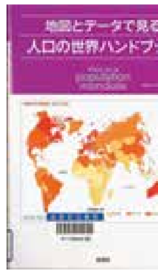


展示コーナー「読書の秋に、理数系の本を読む。」

▶11月21日まで

ロボットを動かすためのプログラミング言語など、パソコンや情報処理関連の本を集めました。

新着図書から

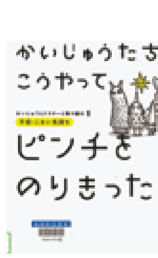


『地図とデータで見る人口の世界ハンドブック』 一般書
▶ジル・ピゾン / 著
▶吉田春美 / 訳
▶ギヨーム・バラヴォワーヌ / 地図製作
▶原書房（334.3/ ピ）

人口問題の現状が一目瞭然でわかります。世界の人口の現状を示し、人口増加をひき起こす2つの原動力である出生率と死亡率とともに、人口の推移の歴史をたどっています。

『通信制高校を選んだわけ』 ティーンズ
▶山口教雄 / 監修
▶学びリンク（J376/ ツ）

時間と行動が思いのままになる通信制高校。そのメリットを生かし、自分らしい高校生活を送っている在校生、卒業生とその母親らが通信制高校を選んだわけを語っています。



『かいじゅうたちはこうやってピンチをのりきった』 児童書
▶新井洋行 / 著
▶森野百合子 / 監修
▶パイインターナショナル（E / ア）

注射、暗やみ、仲間はずれ、みんなの前で話すこと…。この世はこわいことだらけ。不安や恐怖と共存する方法をこわがりかいじゅうたちと一緒に考える。絵本作家と医者でつくる、これからを生きる子どもたちのための絵本です。

歩行者が困っています。

路上駐輪を避けてください

近鉄湯の山線菰野駅前において駐輪場ではない場所に自転車等が駐輪されています。そのため、歩行空間が狭くなり、安全な通行の妨げになっています。
町も路上駐輪解消のため、準備を進めていますが菰野駅を利用される方や周辺を通行する方が気持ちよく利用できるような空間づくりにご協力をお願いします。

満車時

駅前駐輪場が満車となっている場合は、駅近隣にある民間駐輪場をご利用ください。

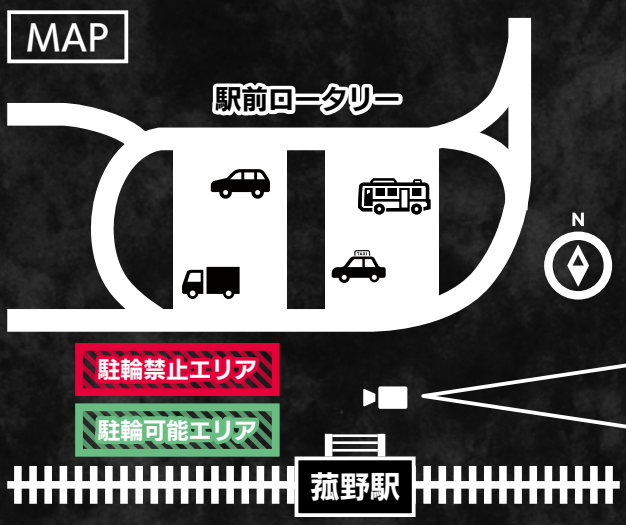
整理整頓

乱雑な駐輪は駐輪可能台数が少なくなってしまうため、整理整頓して駐輪するようにお願いします。

代替手段

利用者が多いと思われる時間帯には、徒歩移動やバス等の公共交通期間の利用もご検討ください。

MAP



点字ブロック上の駐輪は絶対にやめてください

点字ブロック上に自転車等があると利用される方が安全に通行できなくなります。

問い合わせ
▶都市整備課
TEL 391-1138
FAX 391-1192

Fontworks UD FONT
広報菰野 11月号
令和3年11月1日発行
▶企画編集　企画情報課
▶印刷　イヤマ印刷

■菰野町電子メールアドレス keyaki@town.komono.mie.jp
＊「広報こもの」は視覚障がいのある方（障害者手帳をお持ちの方）に「声の広報」をお届けしています。
ご希望の方は役場企画情報課（TEL 391-1105/FAX 391-1188）にお問い合わせください。
＊当紙の内容を当町の許可なく、無断で転載することを禁止します。